



齋
 寶便古狀揃大成
 完

童子必讀
 誤字改正



音訓	千	字	文
天	地	玄	黄
宇	宙	洪	荒
日	月	盈	昃
辰	宿	列	張
寒	来	暑	往
秋	収	冬	藏
閏	餘	成	歲
律	呂	調	陽
雲	龍	改	雨

今川了俊對愚良
 仲秋制利條
 不知交道而感於終
 不得獨利年
 好務存道在二誓
 樂教止二事

天滿宮縁記
 天曆九年九月九日北野
 右近の馬場小遷坐すべくて
 神徳比高驗妙感の端的
 申も中くおろろろ
 我れの心人と身は
 名とやろろさん



天曆九年九月九日北野
 右近の馬場小遷坐すべくて
 神徳比高驗妙感の端的
 申も中くおろろろ
 我れの心人と身は
 名とやろろさん

露 結 為 霜

金 生 麗 水

玉 出 崑 岡

劍 號 巨 闕

珠 稱 夜 光

菓 珍 李 柰

菜 重 芥 薑

海 鹹 河 淡

鱗 潛 羽 翔

龍 師 火 帝

鳥 宦 人 皇

始 制 文 字

乃 服 衣 裳

推 位 讓 國

有 虞 陶 唐

吊 民 伐 罪



一 小 室 莫 求 不 遂 死 昭

一 舍 行 死 罪 辜 辜

一 大 科 上 事 為 具 自 尊

一 沙 法 奴 家 如 上 辜

一 貪 民 會 後 例 神 社

一 極 業 如 辜

一 先 祖 上 山 宏 古 塔 第

一 破 懷 在 私 宅 辜

一 君 父 重 恩 令 忘 却

一 根 忠 孝 辜

一 怪 公 移 辜 辜 辜 辜 辜

一 天 乃 劫 辜

高 護 船 湯

坐 朝 問 道

垂 拱 平 章

愛 育 黎 首

臣 伏 戎 養

遐 邇 通 壹 體

率 賓 歸 王

鳴 鳳 在 樹

化 被 草 木



鳳 凰

賴 及 萬 方

蓋 此 身 髮

四 大 五 常

恭 惟 鞠 養

宣 敢 毀 傷

女 慕 貞 潔

不 女 活 小 者 也 心 心

步 四 對 率

我 如 知 活 个 働 者 又

為 同 分 率

企 遠 起 也 統 以 純 人

慧 樂 此 率

不 知 身 分 限 或 也 否

或 不 是 率

大 他 人 理 致 監 望

養 程 程 威 率

婦 賢 臣 也 傷 人 致

北 方 沙 法 率



禍 因 惡 積	虛 堂 習 聽	空 谷 傳 聲	形 端 表 正	德 建 名 立	克 念 作 聖
------------------	------------------	------------------	------------------	------------------	------------------

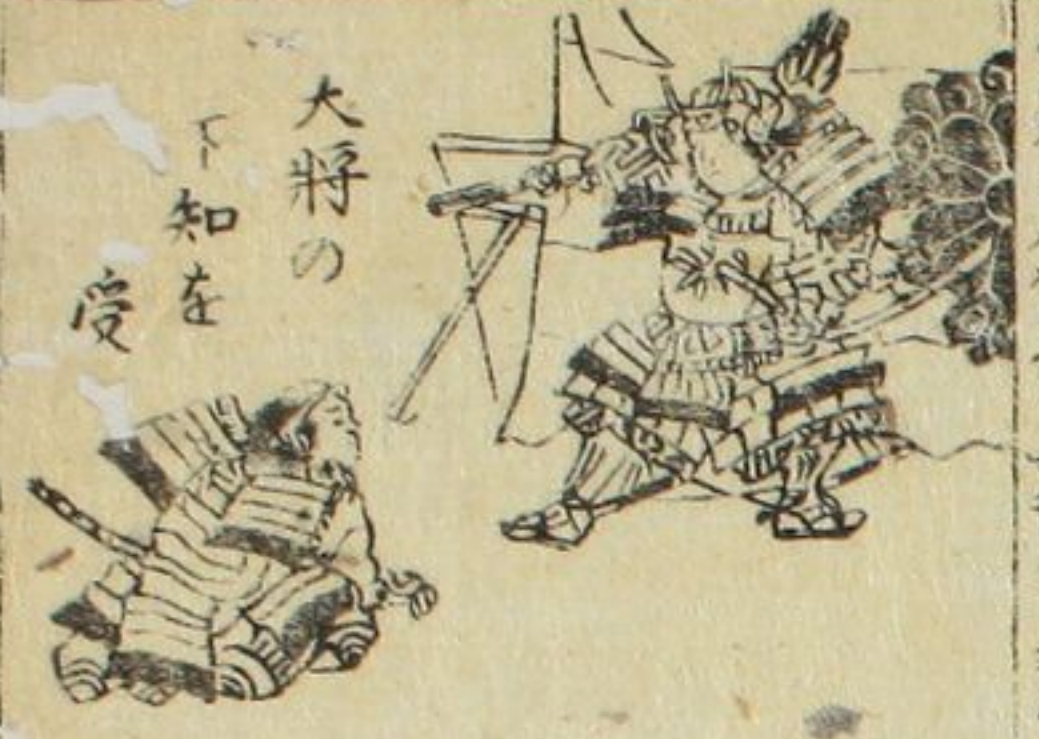
景 行 維 賢	詩 讚 羔 羊	墨 悲 絲 染	器 欲 難 量	信 使 可 覆	靡 恃 已 長	罔 談 彼 短	得 能 莫 忘	知 過 必 改	男 效 良
------------------	------------------	------------------	------------------	------------------	------------------	------------------	------------------	------------------	-------------

一 可
以
禮
義
事
一
出
家
沙
門
衣
袈
裟
一
好
獨
味
不
愁
飲
人
命
一
餘
則
樣
虛
病
狂
一
射
面
事
一
隱
居
事
一
空
家
沙
門
衣
袈
裟
一
可
以
禮
義
事

一 非
道
而
心
不
安
一
幽
室
之
怪
靈
事
一
長
酒
而
毒
甚
與
猪
頭
一
去
處
藏
事
一
迷
已
利
根
然
若
指
一
烟
他
人
事

似 蘭 斯 馨	夙 興 溫 清	臨 深 履 薄	忠 則 盡 命	孝 當 竭 力	曰 嚴 與 敬	資 父 事 君	寸 陰 是 競	軒 璧 非 寶	福 緣 吾 慶
------------------	------------------	------------------	------------------	------------------	------------------	------------------	------------------	------------------	------------------

一 於分國之端與令類
 性迷錄人率
 一 武具不盡已遠
 一 不自見者率
 一 其賊不辨因果
 一 理任安樂率



如 泓 之 盛	川 流 不 息	洲 澄 取 映	容 止 若 思	言 辭 安 定	篤 初 誠 美
------------------	------------------	------------------	------------------	------------------	------------------

一 存謙者乃有令類
 一 實武之道不然而云
 一 於後者先者國之
 一 其者亦必以忠義
 一 其亦軍家之知府
 一 及於事後物法必

慎終宜令
 榮業所基
 籍甚無竟
 學優登仕
 攝職從政
 存以甘棠
 去而益咏
 樂殊貴賤
 禮別尊卑
 上和下睦

本邦方興
 實下
 會國
 知者
 德和
 存明
 德和
 知者
 實下
 會國
 知者
 德和
 存明

夫唱婦隨
 外受傳訓
 入奉母儀
 諸姑伯叔
 猶子比兒
 孔懷兄弟

夫唱婦隨
 外受傳訓
 入奉母儀
 諸姑伯叔
 猶子比兒
 孔懷兄弟



夫唱婦隨
 外受傳訓
 入奉母儀
 諸姑伯叔
 猶子比兒
 孔懷兄弟

漆 漆 漆
 府 府 府
 路 路 路
 家 家 家
 高 高 高
 驅 驅 驅
 世 世 世
 車 車 車
 策 策 策
 功 功 功
 茂 茂 茂
 實 實 實

有 有 有
 令 令 令
 場 場 場
 費 費 費
 打 打 打
 皆 皆 皆

勒 勒 勒
 磻 磻 磻
 佐 佐 佐
 奄 奄 奄
 微 微 微
 桓 桓 桓
 公 公 公
 匡 匡 匡
 合 合 合

此 此 此
 後 後 後
 終 終 終
 名 名 名
 年 年 年
 况 况 况



治本於農	巖岫杳冥	曠遠餘邈	鉅野洞庭	昆池碣石	雞田赤城	鴈門紫塞	禪主云亭	嶽宗恒岱	百部秦并
------	------	------	------	------	------	------	------	------	------

參嚴靈巖此意乃我武皇之靈
 法先遠著法乃合穀之靈
 回身長教初著初者之靈
 靈初者率功者之靈
 達武王乃揚名不於德澤
 七賢之德有國者之德

勸賞黜陟	稅熟貢新	我藝黍稷	俶載南畝	務茲稼穡
------	------	------	------	------

華英之昭若靈者也
 我藝黍稷
 腰越快



法以公其乃和也
 靈武乃靈武也

驢	執	骸	頤	箋	悚	稽	祭	嫡	悅
騾	熱	垢	谷	牒	懼	賴	祀	後	隊
犢	願	想	審	簡	恐	再	蒸	嗣	且
特	涼	浴	詳	要	惶	拜	嘗	續	康

進上 用情事友
 義經會狀
 藤原朝臣深業於此等聖
 德道經多由法中家業法福
 伴法實心極志不遠來後
 伴法實心極志不遠來後
 伴法實心極志不遠來後

駭	誅	捕	布	恬	鈞	釋	並	毛
躍	斬	獲	射	筆	巧	紛	皆	施
超	賊	叛	遼	倫	任	利	佳	淑
驤	盜	七	丸	紙	鈞	俗	妙	姿

進上 用情事友
 義經會狀
 藤原朝臣深業於此等聖
 德道經多由法中家業法福
 伴法實心極志不遠來後
 伴法實心極志不遠來後
 伴法實心極志不遠來後

東	俯	矩	永	指	晦	璇	曦	年	工
帶	仰	出	綏	薪	魄	璣	暉	矢	嬈
矜	廊	引	吉	脩	環	懸	朗	每	妍
莊	廟	領	劬	祐	照	幹	耀	催	笑

沙運獲也知言或何外野
 伏身或國邊海濱風色
 雖切於位之曉練親之思
 靡之三月北其身是種
 及子後系粒食隨若深
 誓守信從不違善不惡

貴人	謂	愚	孤	俳
書	語	蒙	陋	個
者	助	等	窻	瞻
也	者	誦	聞	眺

焉哉乎也
 貴人
 書者

不食毛粟好也威者每素
 困似者梳束切多改多
 我經不志不令生後
 堪難重兼其成其後數白
 文法不字官官其義經

七夕舞づくし

まねのこのんじ
うちわのうめん
まのこきふら
ゆふの
あふの

ゆふの
その門系
を あた
るる
るる
うきさ

ついで
袂代の
あふれ川
うきさ
るる

進上

源右衛門清依教

西塔成徳坊安慶

宍布出松一通

押着きし國守若手之経剛

山田宗茂は奉公意旨疾起

武河内三平況判傳英

髪は海内去云魚腹宿松

妻は経松金重孫傳松

出松宗茂は奉公意旨疾起

白旗内出松宗茂は奉公意旨疾起

奉公意旨疾起

先世宗茂は奉公意旨疾起

いくとせを 七夕
りめぐり
てま
なへ
余
ま
よ
もの
糸の
秋の
年
星
う

あすの月あきせ
とるにまよひの
あつたぬの夜
佐波矢

秋もてもあき
彼のせんまは
七夕ひえ
何をうさま

神代より 七夕
あき 思ふ
あき 思ふ

あき 思ふ
あき 思ふ
あき 思ふ

天の月あきせ

あき 思ふ
あき 思ふ

あき 思ふ
あき 思ふ

合歌



結句あきせ
あき 思ふ

あき 思ふ
あき 思ふ

あき 思ふ
あき 思ふ

あき 思ふ
あき 思ふ

あき 思ふ
あき 思ふ

あき 思ふ
あき 思ふ

あき 思ふ
あき 思ふ

あき 思ふ
あき 思ふ

あき 思ふ
あき 思ふ

あき 思ふ
あき 思ふ

あき 思ふ
あき 思ふ

あき 思ふ
あき 思ふ

堂ありと格く
見合大船り
あう人順風
高帆あうけ
勢ひ極くも
橋場より
揚り家あり
案内を頼む
名ふきていき
車官むみやこ

陸沈北送御何由切事他
運者知事別願儀沈舟案
番之代運者船中事程若事
中伏事者法安事法若事
極事之儀の事事若事
春水之月丹津出資

舟と波来無
着のとりど
云修へる一
後も有とあ
あつ本母さ
小あり来美
塚の堀紀を
一後一ま
河を流
いさたよを

望上保来舟に為耐敷
徑成事成
今月七日お移次宿に耐敷
不難事送物上法来出花法
各法源西海波山来運表
事法高遊舟事若事

足てを秋の
夜は月く海
るくくむを
抄のひ法并
が系のま風
と時由とや
顔むむ彼ゆ
毎法在且言
潤伽の水換
法ととと

薄の月を
空を空を
先世世世
唯唯唯唯
如如如如
毛目目目目

つて入一鏡
の池を見世
得乳山夕耕
くして菴々
崎と大夫人
の懐を懐
ふ心法法
此親を重
の空を空
あたり正野

空を空を
空を空を
空を空を
空を空を
空を空を
空を空を
空を空を
空を空を

廿六

廿五

面々一々云
牛沖若之福
守田中の橋
少て魂をひき
舞のあまろ
郡志老
男女よ更
芝生の萱葉
教弟よとた

今世は行市中
不世因利相
昔夢は昔先子
後世痛傷逢
軍軍新河日
物切勝能
今世は行市中
不世因利相
昔夢は昔先子
後世痛傷逢
軍軍新河日
物切勝能

由くるり足飛
ゆつ時志老
髪をむきとび
紫平塚の夜
あめ誰か泣
せしれつる風情
くんぎん
虎守をさる事
依江
泉井戸矢満

勢は世を全か
木海家如常
守家
海をる物
金謀叛の
能張

世良の漢由
うぐせしめ
向ふ富士山
麻子まご
月解結うご
正有一存ふ
浅乃秋まを
あつとれみや
とぐ先ぬと
あつとれみや
在系中おの

刻秀形送心
別行後妻妻
大園家家
我親今又
國城山
高田園

むう一命見
るやうりや
まへらむ道
あのみれ腕
とるまを
ひをん
てんてん

仙神
父子
我
唐長
秀頼

文化十甲戌年三月再刻
天保三壬辰年九月再刻

嘉永四辛亥年五月再刻
萬延元庚申年二月再刻

江戸馬喰町二丁目東側 一六
錦森堂 木林屋治兵衛 扱

